

令和5年度

日赤なら

知ってほしい。
いのちを守る赤十字活動



「第4ブロック(近畿)合同災害救護訓練」
～令和4年6月18日 田原本町～

県民の皆様には、赤十字事業の推進につきまして、日頃より格別のご高配を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社では、「人間を救うのは、人間だ。」というスローガンのもと、度重なる自然災害において、発生当初より全社を挙げて救護活動や被災者支援などの人道活動を行っております。

本誌では、身近な奈良県支部の活動を知っていただくために事業内容をご紹介します。

本誌でご紹介しております赤十字活動はすべて、皆様一人一人からの「会費」「寄付金」、そしてボランティアの方々の活動によって支えられております。

皆様の温かいご理解・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



日本赤十字社 奈良県支部
Japanese Red Cross Society



〒630-8133
奈良市大安寺1丁目23番2号
TEL : 0742-61-5666
FAX : 0742-61-5756
<https://www.jrc.or.jp/chapter/nara/>



災害救護活動 ～ 災害からいのちを守る ～



奈良県には赤十字病院がありませんが、地震・大雨などの自然災害に一刻も早く対応できるよう、県内医療機関と委託契約を締結し、救護班編成をしておくとともに、必要となる救護資機材の整備を行うなど、いざという時に備えています。

また、災害発生時には、速やかに被災地へ救護班を派遣し、救護活動を行うとともに、被災された方々のために義援金募集・救援物資の配布を行います。

救護体制の強化

★令和5年度の主な訓練★

① 第4ブロック(近畿)合同災害救護訓練

委託先医療機関の救護班、日赤災害医療コーディネータ及び赤十字防災ボランティアも協働して参加し、連携強化や知識の向上を図る訓練です。令和5年度は兵庫県に近畿の赤十字支部・施設が参集し、実施予定です。

② 奈良県防災総合訓練

奈良県が主催者となって、県内の防災関係機関等が参加する訓練に、奈良県支部の委託先から、救護班が参加します。



第4(近畿)ブロック合同災害救護訓練
(令和4年度は奈良県で開催)



奈良県防災総合訓練に
防災ボランティアも参加

■ 救護班を編成していただいている医療機関

奈良県総合医療センター	奈良県西和医療センター	市立奈良病院
大和高田市立病院	南奈良総合医療センター	奈良県立医科大学附属病院

救護資機材・救援物資の整備

大規模災害における災害救護活動を強化するため、必要な資機材の整備を計画的に行っています。

(令和4年度～令和6年度：3ヵ年計画)

また、災害発生時に迅速に救護活動が実施できる体制を構築するため、企業・団体との災害時協定の締結にも取り組みます。



救援物資(毛布)



災害救護車(地区分區配備)

令和5年度の主な整備計画

- ・災害救護車(トラック・ワンボックス)
- ・災害救護車(地区分區配備)※
- ・蓄電池(地区分區配備)※
- ・無線基地局整備
- ・AED本体(地区分區配備)※
- ・オートショックAEDトレーナー
- ・蘇生法教育人体モデル
- ・気道確保モデル など

※地区分區とは、各市町村のことで。

国際活動 ～ 世界とつながる ～



世界192の国と地域で組織されている赤十字は、赤十字国際委員会や国際赤十字・赤新月社連盟と連携を図りながら、国境、民族、そして宗教も超えて紛争、災害、貧困などで苦しむ人々を、支援をしています。

奈良県支部では、バングラデシュへの保健医療支援を令和2年度から継続して行っています。また、海外で発生している大規模災害や、紛争等に対して救援金の募集を行うとともに、毎年12月には、「NHK海外たすけあい」キャンペーンをNHK奈良放送局と共同で実施しており、県内各地で街頭募金活動を行い、世界を対象に支援を行っています。

赤十字講習～いざという時に備えて～



「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という、赤十字の使命に基づき、緊急時や災害時に人命を救う方法や、健康で安全に暮らすための知識と技術を広めるため、次の講習を実施しています。お問い合わせ・お申込みは、奈良県支部事業推進課までお願いします。

■ 救急法講習

日常生活における事故の防止に加え、心肺蘇生法やAEDの使い方、止血の仕方や、急病・骨折などへの応急手当について学べます。



救急法講習

■ 水上安全法講習

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と事故防止、おぼれた人の救助方法などについて学べます。



水上安全法講習

■ 幼児安全法講習

子どもを大切に育てるために、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防、かかりやすい病気の手当などについて学べます。



幼児安全法講習

■ 健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者との接し方・介護技術などを学べます。



健康生活支援講習

■ 防災講習

● 防災セミナー

地域コミュニティでの「自助」「共助」の力を高め、災害（特に地震、津波、大雨・土砂）からいのちを守り、身の安全を確保するため、普段から準備すべきことを学べます。

● 防災啓発プログラム

被災した際に、避難所での生活支援の方法や、防災・減災のための対応など、知りたい内容のプログラムを選択して学べます。



防災講習

講習会実施までの流れ

- 1 講習会を計画する
- 2 電話による相談（講習希望日の2か月前までに）後救急法等申込書の提出
- 3 講師派遣の回答（提出後10日以内に連絡します。）
- 4 講師派遣依頼文書を市町村担当窓口へ提出
- 5 資材などを電話で打合せ
- 6 講習会実施

※詳しい方法はホームページをご覧ください。

★令和5年度の主な取り組み★

- 地区区分と共催による講習を開催します。（開催費用は無料）
- 金色有功章を受章された企業様を対象に、赤十字講習を受講するきっかけを提案します。
- 各講習の指導が行える指導員の養成講習も開催します。

青少年赤十字 ～ 思いやりを育む ～



親子で学ぶ防災教室

幼稚園、保育所、小・中・高等学校、特別支援学校等の中に組織されており、学校・幼稚園の先生や保育所の保育士が指導者となり、「気づき・考え・実行する」という生きる力を養っています。世界的な組織のため、国内の学校やメンバー間はもちろん、姉妹社の青少年赤十字メンバー同士の交流も盛んに行われています。

奈良県支部では、夏休みに青少年赤十字指導者協議会と協働して「親子で学ぶ防災教室」

を開催し、災害を想定したシミュレーションを通して、災害を自分のこととして捉えることで想像力を養っています。また、メンバーのリーダーシップを育成するための青少年赤十字リーダーシップトレーニングセンターも開催しています。

奈良県内では、現在132校・合計約34,000人が青少年赤十字に加盟しており、青少年赤十字の普及や、加盟校での救急法や防災教育の促進を行います。



小学校での防災講習

看護師養成 ～ 国内外で活躍できる看護師の養成 ～



京都第二赤十字看護専門学校の授業の様子

豊かな人間性と看護に関する幅広い能力と、災害救護の専門知識を兼ね備え、国内外を問わず、広く社会に貢献できる看護師を養成するため、京都第二赤十字看護専門学校に委託しています。

また、赤十字看護学生には、奨学金制度を設けています。



血液事業 ～ 献血にご協力を！ ～

血液センターでは、県内各地で献血をお願いし、24時間体制で安全な血液を安定的に医療機関へお届けしています。

また、将来の献血を支える若年層への啓発として、献血セミナーや学校献血に取り組んでいます。

令和5年1月
リニューアルしました。



近鉄奈良駅ビル献血ルーム

【採血基準】

系統 種類	成分献血		全血献血	
	血小板成分献血	血漿成分献血	400mL	200mL
1回の 献血量	600mL以下 (循環血液量の12%以内)		400mL	200mL
年齢※	男性:18～ 69歳	18歳～69歳	男性:17～ 69歳	16歳～69歳
	女性:18～ 54歳		女性:18～ 69歳	
体重	男性45kg以上 女性40kg以上		男女とも 50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上

※65歳以上の方の献血は、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。

献血場所

奈良県赤十字血液センター
大和郡山市筒井町600-1
TEL 0743-56-6100
献血予約専用フリーダイヤル
☎0120-566-245



近鉄奈良駅ビル献血ルーム
奈良市東向中町28(奈良近鉄ビル6階)
TEL 0742-22-2122
献血予約専用フリーダイヤル
☎0120-397-722

赤十字ボランティア ~ 活動を支える ~

年齢や性別を問わず、災害救護や献血の推進、講習会の普及や赤十字事業の推進をはじめ、地域社会のニーズに応じた幅広い活動に積極的に参加・協力しています。

奈良県支部では、赤十字ボランティアの自主性を尊重し、地域のニーズに応えた魅力ある活動を支援しています。



□地域赤十字奉仕団

各市町村ごとに組織された奉仕団で現在、県内で2,548名の方が地域奉仕団として活動しており、地域の身近なニーズや課題に取り組んでいます。全体の取組みとして、地区委員会や研修会の開催、ハンセン病施設訪問（岡山県）などを行っています。また、地域活動では、防災訓練への参加、モデル奉仕団活動、献血協力の呼びかけ、クリーンアップならキャンペーンへの参加、海外たすけあいの募金活動と受付協力などの活動のほか、老人ホームでの交流会や地域での清掃活動などに取り組んでいます。

奈良県支部では、地域奉仕団員の知識や技術を身につけるための研修や、地域奉仕団と特殊奉仕団の交流を深めるための奉仕団交流会を開催します。また、積極的な奉仕団の活動を支援するため「地域赤十字奉仕団活動促進助成金」を交付し、赤十字活動に対する県民の理解を深め、健康で安心して暮らせる共同社会を構築するための奉仕団活動を支援しています。



地域赤十字奉仕団研修会



ハンセン病施設訪問

□安全法指導赤十字奉仕団

赤十字指導員資格を有し、健康で安全に暮らせるための知識や技術を伝える講習を普及しています。



総会

□無線・救護赤十字奉仕団

無線技士の資格を活かし、災害時の情報収集や伝達を担うため、通信訓練や救護活動を行っています。



無線通信訓練

□青年赤十字奉仕団

勤労青年や大学生で組織され、献血の呼びかけや青少年赤十字のサポートなどを行っています。



近畿大学農学部赤十字奉仕団
街頭募金活動

□看護赤十字奉仕団

看護師の資格を有し、公共性の高い行事への臨時救護などの活動を行っています。



奈良マラソンでの救護

□青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字の指導に当たっていた先生で組織され、青少年赤十字を支えています。



青少年赤十字リーダーシップ・
トレーニングセンターでの指導

□赤十字防災ボランティア

災害発生時に、奈良県支部が行う救護活動や被災者支援のための活動を行っています。



救援物資の搬送

★赤十字ボランティアメンバーを募集しています!!★（連絡先：奈良県支部 0742-61-5666）

赤十字活動資金にご協力をお願いします

活動資金へのご協力方法

- ① 自治会・町内会や赤十字奉仕団を通じてのご協力
- ② 奈良県支部やお住まいの市町村の赤十字窓口でのご協力
- ③ 銀行・郵便局・JAならけんからのお振込みによるご協力

金融機関	口座番号	加入者名
郵便局	00950-9-105293	日本赤十字社奈良県支部
南都銀行南支店	普通預金No.0442508	
JAならけん	普通預金No.0009950	

- ※ 振込用紙の通信欄には、「活動資金」とご記入下さい。
- ※ 南都銀行・JAならけんからお振込の場合は、奈良県支部へご連絡ください。振込用紙を送付します。

④ 口座振替・クレジット決済によるご協力

- ※ 口座振替には専用の申込用紙がありますので奈良県支部までご連絡ください。
- ※ クレジットカード決済は、日本赤十字社のホームページからお申し込みをお願いします。 <https://www.jrc.or.jp/>

⑤ 企業・団体の「CSR活動」によるご協力

- ※ 寄付金付き自販機の設置・売上金の一部を赤十字へご寄付・チャリティイベントによる収益金ご寄付・災害時の協定 など

⑥ 遺贈によるご寄付や相続財産のご寄付

- ※ 詳しいパンフレットをご希望の方は、奈良県支部までご連絡ください。

❖ 日本赤十字社へのご協力は、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは、奈良県支部へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

表彰制度について

●日本赤十字社の表彰

項目	表彰基準
支部長表彰状 支部長感謝状	活動資金として、一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人
銀色有功章	活動資金として、一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人
金色有功章	活動資金として、一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人
日本赤十字社感謝状	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円以上を納められた個人・法人

●国の表彰

項目	表彰基準
厚生労働大臣感謝状	活動資金として、一時または同一年度内に累計で100万円以上を納められた個人・300万円以上を納められた法人
紺綬褒章	活動資金として、一時または分納の累計で、500万円以上を納められた個人・1,000万円以上を納められた法人

あたたかいご支援
よろしくお願いたします。



令和3年度決算

収入の部	決算額(円)
社資収入(地区区分(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金等)	162,784,425
補助金及び交付金収入(日本赤十字社本社からの交付金)	2,796,293
資産収入(支部災害救援車売却)	0
繰越金収入(特別退職金準備金積立金廃止による繰入)	1,735,253
雑収入(講師派遣収入、講習用教材費収入等)	2,324,609
前年度繰越金	43,214,664
収入合計	212,855,244

支出の部	決算額(円)
災害救護事業費(災害に備えた救護装備、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等)	22,740,680
社会活動費(救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費)	23,383,601
国際活動費(Bangladesh 保健医療支援事業)	1,356,163
指定事業地方振興費(災害救護資機材整備費)	5,315,000
地区区分交付金支出(地区区分(市町村)における赤十字活動費)	9,807,075
社業振興費(赤十字思想の普及啓発費、会費・義援金募集、会員管理費、奈良県赤十字大会開催費)	40,123,978
基盤整備交付金・補助金支出(血液センター施設整備費)	300,000
積立金支出(災害等資金積立金、退職給与資金特別会計積立金)	5,258,976
総務管理費(支部の事業管理運営費)	22,688,668
資産取得及び資産管理費(施設管理費)	1,133,545
本社送納金支出(日本赤十字社本社への送納金)	23,170,413
支出合計	155,278,099
次期繰越金	57,577,145

令和5年度予算

収入の部	予算額(円)
社資収入	167,000,000
補助金及び交付金収入	3,972,000
繰入金収入	32,000,000
資産収入	100,000
雑収入	4,928,000
前年度繰越金	25,000,000
収入合計	233,000,000

支出の部	予算額(円)
災害救護事業費	71,000,000
社会活動費	40,000,000
国際活動費	1,100,000
指定事業地方振興費	3,000,000
地区区分交付金支出	16,800,000
社業振興費	37,000,000
積立金支出	5,700,000
総務管理費	30,000,000
資産取得及び資産管理費	1,550,000
本社送納金支出	23,850,000
予備費	3,000,000
支出合計	233,000,000